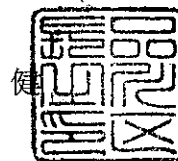




品まち都収第 16 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長様

品川区長 濱 野



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日頃から区政にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号で依頼のありましたこのこと
につきまして当区の意見は別紙のとおりです。

担当：まちづくり事業部都市計画課
都市計画担当 野 畑
電話：5742-6760

中期的な計画の作成にあたっての意見

交通網の整備は、都市の快適さや魅力を高めていくための最も重要な要素のひとつであり、区民が今後とも住みやすく、活気あふれる「まち」として発展していくためには、鉄道や道路の安全性や利便性を高め、安全で効率的な交通体系を形成していく必要があります。

当区内の主要な道路網は、南北方向に比べ東西方向の道路整備が立ち遅れており、また鉄道網が発達している反面、踏み切りが多いことにより車両の渋滞や生活道路への通過車両の流入を引き起こしております。さらに、区内には住宅密集地が多く、震災時の消防活動や避難路の確保を図るための道路整備が急がれているところであります。

このような道路網を整備する際には不経済な道路の掘り返しや交通への影響を最小限にとどめるとともに都市景観を形成するために、電線類等の地中化を推進していく必要があります。

さらに、高齢社会への移行により高齢者や交通弱者はもちろん、すべての歩行者にやさしい交通安全対策に配慮した道路のバリアフリー化を図り、あわせてヒートアイランド対策を考慮した環境にやさしい道路整備を進めていく必要があります。

このようなことから中期的な計画策定にあたっては下記の事項を明確に位置づけていただきたいと思います。

記

1. 区内道路網の骨格を形成する幹線道路整備の推進

・補助 29 号線の早期事業着手

補助 29 号線は昭和 21 年に都市計画決定されて以来、今日まで 60 年以上も未着手の路線であります。この計画道路区域内の住民は、長期間にわたり権利行使の制約を受けてきたことに加え、いまだに着手時期を明確にしないことに不信感を深めております。一方、この地域の方々により総合的なまちづくりの検討も始められております。

当区としては、本路線の整備は災害に強いまちづくりを進めるため重要であると同時に、道路行政に対する地域住民の信頼を得るうえからも喫緊の課題と考えており、事業の早期着手を強く要望します。

・現在事業中の補助 26 号線の整備促進

・補助 163 号線、および補助 205 号線の街路事業として補助枠の拡大

2. 分断された「まち」の活性化を図る鉄道立体化と踏切対策の推進

・鉄道立体化による抜本対策とともに、踏切道拡幅等の整備促進

3. 電線類地中化の推進

・街路整備完了の幹線街路、および商店街を含む主要区道等の整備促進

4. 高齢者や交通弱者にやさしい交通環境のバリアフリー化の推進

・歩道の段差の改修、歩道拡幅整備等の補助事業化

5. ヒートアイランド対策として環境にやさしい道路整備の推進

・遮熱性舗装等の特殊舗装への技術援助、および補助事業化

平成 19 年 5 月 8 日

品川区長 濱 野 健

